

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	古株 ひろみ	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(保健看護学)	
学位授与番号	甲第130号	
学位授与日付	平成26年9月24日	
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当	
論文題目	特別支援学校における医療的ケアが必要な子どもの教育を支える看護	
審査委員	教授 伊東 美佐江	教授 津島 ひろ江
	教授 松本 啓子	教授 池添 志乃(高知県立大学)

博士論文内容の要旨

本論文の目的は、特別支援学校で先駆的に働く看護師への面接調査を実施し、医療機関での看護から学校の看護に適応する過程を明らかにすることと、さらに、適応に至った看護師が学習場面で展開している看護を明らかにすることであった。

先行研究から、学校に配置された看護師の役割や職務の不明瞭さなどから生じている看護師の戸惑いや混乱といった現状の課題を抽出した。第2章では、先駆的に働く看護師への半構成面接法で得たデータを質的(帰納的)に分析し、治療優先の看護からの変化の過程に注目した。その結果、経験を重ねた看護師は、子どもの体調を管理し、学習を保障することが学校での看護の目的と捉えて看護を展開することが学校の看護師の役割であるとの認識に変化していた。このことが、役割葛藤の軽減をはかり、自ら考えて学校での看護を展開していく経験を重ね、看護のアイデンティティを回復し、学校の看護に適応していく過程を明らかにした。第3章では、医療的ケアの事例ごとに学習場面での看護を分析し、授業に集中できるよう担任と連携し、学習を保障する視点を持ち、成長発達を考えた医療的ケアを提供するといった学校での看護を具現化した。この成果が特別支援学校に配置された看護師の研修などに活用されることが今後の課題である。

博士論文審査結果の要旨

研究結果から、特別支援学校で先駆的に働く看護師の医療機関での看護から学校での看護への混乱からの適応過程を探究し、医療的ケアの必要な子どもの学習における看護師の看護活動の特徴を明らかにした。特別支援学校における看護師の看護活動を明らかにした研究は稀である。本論文は、事例数やサンプリングに限界があるが、論旨は一貫しており、特別支援学校における看護師の適応過程とその看護活動を具体的に示した点で優れており、新規性がある。博士学位論文発表会においても適切に回答がなされた。